

平成24年度当初予算編成

公開説明会 〔資料〕

平成23年12月18日(日)

午後1時00分～

社会福祉センター3階大会議室

佐倉市企画政策部財政課

平成 24 年度当初予算編成に係る公開説明会 実施予定

1. 日 時 平成 23 年 12 月 18 日(日) 13 時 00 分～16 時 15 分 (予定)
※入退室自由です。参加申し込みは不要です。

2. 会 場 佐倉市役所社会福祉センター 3 階大会議室

3. 内 容 13 : 00～14 : 00

①全体説明(予算全般、市税、人件費)
質疑

14 : 00～14 : 15 休憩・会場レイアウト変更

14 : 15～16 : 15

②会場内で 3 部門に分かれてのブース形式 (説明・質疑)

【ブース 1】

○福祉・健康・子育て・教育

【ブース 2】

○市民生活・防犯・総務等

【ブース 3】

○産業・都市基盤

※各ブース間の移動は自由です。

平成24年度当初予算公開説明会の対象事業一覧

所属名	予算科目		事業名	臨時 経常	新規 継続	要求額 (千円)	事業の概略	部門	
	款	項							
社会福祉課	3	4	2	生活保護費等給付事業	経常	継続	2,422,427	生活保護法に基づき、被保護者に対する生活保護費の支給。	福祉・健康・子育て・教育
障害福祉課	3	1	6	障害者介護給付事業	経常	継続	1,324,302	障害者自立支援法に規定するホームヘルプサービスなど介護給付に関する支援。	福祉・健康・子育て・教育
子育て支援課	3	3	4	放射性物質対策事業(保育園分)	臨時	継続	328	保育園給食食材の放射性物質の測定。	福祉・健康・子育て・教育
子育て支援課	3	3	4	民間保育園施設整備助成事業	臨時	継続	172,818	民間保育園施設整備に対する経費の一部補助。	福祉・健康・子育て・教育
子育て支援課	3	3	1	病児・病後児保育事業	臨時	新規	9,870	病児回復期等で集団保育が困難な児童を病院併設施設等で一時的に保育する。	福祉・健康・子育て・教育
児童青少年課	3	3	2	家庭児童支援事業	臨時	新規	1,792	児童虐待に陥る恐れのある保護者に対する養育支援。	福祉・健康・子育て・教育
健康増進課	4	1	2	健康医療相談事業	臨時	新規	11,783	健康・医療に関する市民からの相談を電話により24時間受け付けて、医師等の専門家によるアドバイス等を実施。	福祉・健康・子育て・教育
教育総務課	9	2	3	小学校施設改築・改築事業	臨時	継続	667,299	小学校の耐震補強事業等。	福祉・健康・子育て・教育
教育総務課	9	3	3	中学校施設改築・改築事業	臨時	継続	390,060	中学校の耐震補強事業等。	福祉・健康・子育て・教育
指導課	9	6	3	放射性物質対策事業(学校給食分)	臨時	継続	795	学校給食食材の放射性物質の測定。	福祉・健康・子育て・教育
社会教育課	9	5	1	コミュニティカレッジ活動事業	臨時	新規	1,781	千代田小学校の既存特別教室を活用した、地域学習室、学習講座、コミュニティカレッジ新規開設のための活動事業。	福祉・健康・子育て・教育
社会教育課	9	5	1	コミュニティカレッジ施設整備事業	臨時	新規	11,255	地域学習室、学習講座、コミュニティカレッジ新規開設のための、千代田小学校の施設整備及び備品等整備。	福祉・健康・子育て・教育

平成24年度当初予算公開説明会の対象事業一覧

所属名	予算科目		事業名	臨時 経常	新規 継続	要求額 (千円)	事業の概略	部門
	款	項						
企画政策課	4	3	1 水源確保事業	臨時	継続	85,406	印旛広域水道用水事業への支出金。	市民生活・防災・ 総務等
広報課	2	1	5 インターネット等広報事業	臨時	継続	3,329	市ホームページの更新経費等。	市民生活・防災・ 総務等
広報課	2	1	5 臨時災害FM放送事業	臨時	新規	11,500	災害時の広報手段として、FM放送を配信するための機器整備、管理。	市民生活・防災・ 総務等
総務課	2	1	2 障害者庁内就労推進事業	臨時	継続	3,472	知的障害者の雇用、庁舎内での職業訓練、事業者との雇用締結支援。	市民生活・防災・ 総務等
議会事務局	1	1	1 議会公用車管理事業	臨時	新規	1,779	議長車のリース。	市民生活・防災・ 総務等
交通防災課	2	1	12 防災対策計画事業	臨時	継続	14,607	防災会議開催、防災アセスメント調査、総合防災ハザードマップ作成。	市民生活・防災・ 総務等
交通防災課	2	1	12 防災施設整備事業	臨時	継続	74,025	防災行政無線(同報系)施設設置、防災井戸設置、防災ラジオ購入等。	市民生活・防災・ 総務等
健康保険課	3	1	1 後期高齢者人間ドッグ助成事業	臨時	新規	1,500	後期高齢者の人間ドッグ受診者への助成金支給。	市民生活・防災・ 総務等
健康保険課	8	2	1 人間ドッグ助成事業 [国民健康保険特別会計]	臨時	新規	8,404	国保加入者の人間ドッグ受診者への助成金支給。	市民生活・防災・ 総務等
環境保全課	4	1	6 放射性物質対策事業	臨時	新規	63,263	放射線量の測定、放射性物質の除染等の実施。	市民生活・防災・ 総務等

平成24年度当初予算公開説明会の対象事業一覧

所属名	予算科目		事業名	臨時 経常	新規 継続	要求額 (千円)	事業の概略	部門
	款	項						
農政課	5	1 3	耕作放棄地対策事業	臨時	継続	10,230	「①意欲ある農業者への農地集約②新規就農者への支援③耕作放棄地解消」の一体的に実施。	産業・都市基盤
産業振興課	6	1 3	観光イベント事業	臨時	継続	55,258	チューリップまつり、フラワーフェスタ等の各種イベント実施、及び花火大会への交付金。	産業・都市基盤
産業振興課	6	1 3	観光資源創出事業	臨時	新規	935	グレ漁見学クルーズ委託、サイクリングマップデータ作成委託、武家屋敷通り等景観整備委託。	産業・都市基盤
産業振興課	6	1 3	観光情報発信事業	臨時	新規	1,500	観光情報発信のための、情報誌掲載。観光宣伝用品作成(佐倉城級グルメリPR用品)。	産業・都市基盤
道路建設課	7	2 3	馬渡・萩山線道路改良事業(Ⅰ-23号線)	臨時	継続	36,701	市内を南北に縦断する幹線道路で、県道佐倉印西線の慢性的な渋滞解消を目的とする道路改良事業。	産業・都市基盤
道路建設課	7	3 3	3・4・5井野・酒々井線外1路線道路改良事業	臨時	継続	12,242	市内を東西に横断する幹線道路で、国道296号線の慢性的渋滞解消を目的とする道路改良事業。	産業・都市基盤
道路建設課	7	3 3	太田・高岡線外2路線道路改良事業	臨時	新規	17,310	JR佐倉駅南側、寺崎立交差点及び錦木交差点付近の慢性的な渋滞解消を目的とする道路改良事業。	産業・都市基盤
道路建設課	7	3 3	上座・青菅線道路改良事業	臨時	新規	1,300	県が進めている国道296号バイパスに併せた道路改良事業。	産業・都市基盤
下水道課	1	1 3	下水道施設(汚水)改修事業 [下水道事業特別会計]	臨時	継続	252,065	継続的な老朽化施設の改修工事、長寿命化計画の策定。	産業・都市基盤
下水道課	1	2 1	汚水整備事業(公共下水道汚水整備) [下水道事業特別会計]	臨時	継続	185,071	印旛沼水質汚濁防止と市民生活環境改善を図った、計画的な公共下水道(汚水)整備。	産業・都市基盤
下水道課	1	2 1	雨水整備事業 [下水道事業特別会計]	臨時	継続	243,180	浸水被害が発生している地区などについての、計画的な雨水排水整備。	産業・都市基盤
公園緑地課	7	3 6	岩名運動公園拡張整備事業	臨時	継続	238,440	岩名運動公園のグラウンド舗装、防球ネット工事。	産業・都市基盤
建築指導課	7	1 2	建築行政適正化支援事業	臨時	継続	25,846	建築関連情報一元化の電子地図作成、インターネット公開準備。建築確認等データベース同時運用システム構築。	産業・都市基盤
建築指導課	7	4 2	市営住宅修繕事業	臨時	新規	33,985	市営住宅の長寿命化を図るため、大規模改修等を実施。	産業・都市基盤
志津霊園対策室	7	3 3	勝田台・長熊線整備事業	臨時	継続	491,708	勝田台・長熊線の全線開通に向けた、未開通部分である志津霊園関連区間の問題解決、早期開通を図る事業。	産業・都市基盤

平成24年度当初予算編成 公開説明会

〔全体説明〕

「平成24年度当初予算編成」 財政課	…………… P. 5
「平成24年度市税課税状況及び徴収見込」 課税課、収税課	……………P. 14
「平成24年度職員人件費」 総務課	……………P. 16

資料:佐倉市の当初予算編成概要と財政状況

平成24年度佐倉市当初予算編成に当たって

① 国の状況

- ・ 日本の経済情勢は、リーマンショック以降ようやく回復の兆しが見えていたが、東日本大震災による災害の影響に加え、円高、欧州での金融危機等により、景気の下振れのリスクなど、先行き不透明な状況となっています。国の中期財政フレームでは、今後3年間は、平成23年度の当初予算額を上回らないとの方針が示され、地方財政にも大きく影響するものと考えられます。
- ・ 例年、国の予算編成は12月末までに全体概要が明らかにされ、また、地方自治体の歳入歳出の方向性を示す地方財政計画も同時に示される予定。

② 佐倉市の状況

- ・ 市債の残高は減少、財政調整基金は増加しているが、市税が減少傾向にあり、厳しい財政状況が続いている。
- ・ 扶助費などを含め社会保障経費が増加傾向。人件費、公債費はほぼ横ばい。
- ・ 今後、少子高齢化の進展による影響や公共施設の改修サイクル到来などもある。

③ 佐倉市の平成24年度予算編成

- ・ 市税収入の減収、社会保障関連経費の増加など、厳しい財政状況にあることから、限られた財源を有効配分し、持続可能な財政の確立をめざし、歳入規模に合わせた予算編成を行うことを基本方針とする。

1

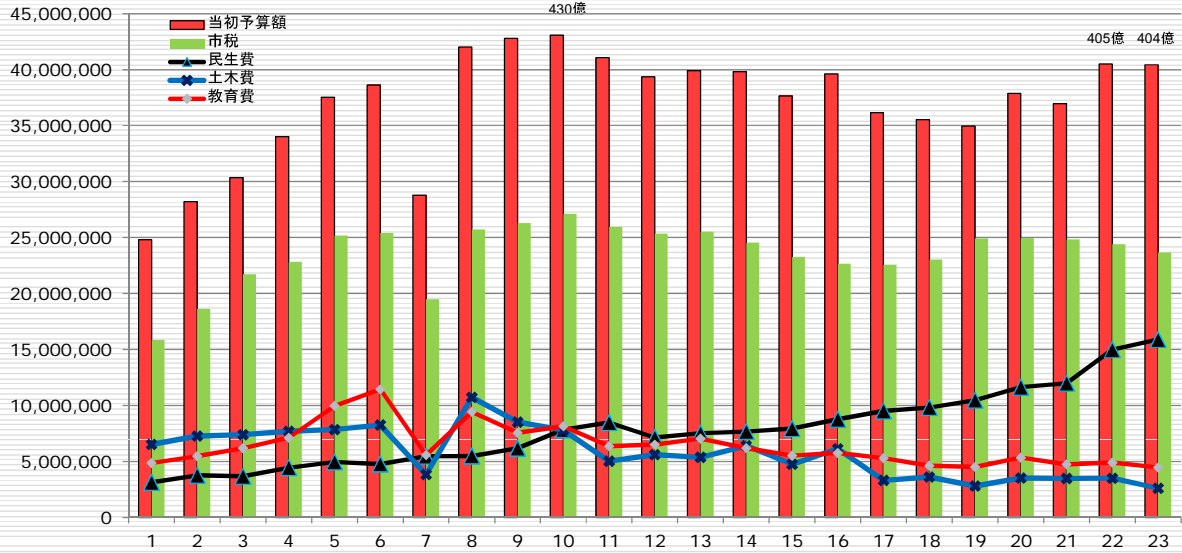
平成24年度当初予算編成作業の流れ

- ・ **平成23年10月下旬**・・・**予算編成方針の通知**（財政課→各事業担当課）
- ・ これを受けて、各事業担当において、次年度予算要求の検討、精査
- ・ **11月中旬～下旬**・・・**経常的経費、臨時的経費の予算要求**（各事業担当課→財政課）
- ・ **11月～12月**・・・**要求内容のヒアリング**(財政課→担当課)
- ・ **12月9日～26日** 「平成24年度当初予算編成にかかる**意見募集**」（市←→市民）
(12月18日(日))・・・平成24年度当初予算編成にかかる公開説明会)
- ・ **12月～**・・・**要求内容のヒアリング・査定**
- ・ **平成24年1月初旬～中旬**・・・**市長査定、予算内示、復活要求**
- ・ **1月中旬～下旬**には、**予算案をまとめ**、**2月中旬**には**議会に提案**
- ・ **3月下旬**、**予算案の議決**を受け、**4月**からは**新年度予算を執行**

2

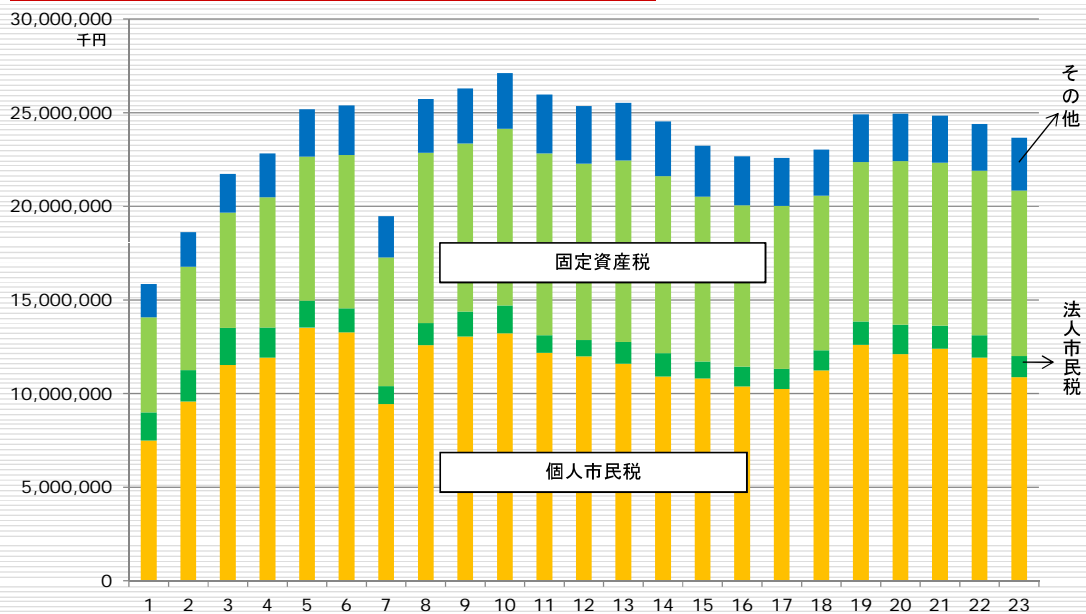
一般会計当初予算の推移

(単位:千円)



3

当初予算における市税の推移 <グラフ>



4

平成24年度一般会計当初予算の要求状況①

【歳入要求】

(単位:百万円)

歳入区分	23年度当初	24年度【要求】	24-23差引額	備考
市税	23,658	23,480	△178	減少と見込む
地方譲与税等	2,452	2,452	0	
地方交付税	1,850	2,000	150	H23年度実績と同程度
臨時財政対策債	2,100	2,100	0	H23年度当初と同程度
その他一般財源	83	102	19	
〔一般財源計〕	〔30,143〕	〔30,134〕	〔△9〕	
特定財源	10,285	10,290	5	国県支出金、使用料、市債等
歳入合計	40,428	40,424	△4	

- ・地方譲与税等は、国の方針が示されていないため、要求では、平成23年度当初予算と同額としている。
- ・この計算には、政策経費に係る特定財源も含めて仮に集計しています。

5

平成24年度一般会計当初予算の要求状況②

【歳出要求】

(単位:百万円)

歳出区分	23年度予算	24年度【要求】	24-23差引額	備考
義務的(準義務的)経費	32,500	32,782	282	人件費、公債費、扶助費等
通常一般経費	4,489	4,520	31	各部局に要求限度額設定
〔経常的経費計〕	36,989	37,302	313	
政策的経費	3,255	6,065	2,810	政策判断が伴う要求を含め仮集計
通常特別経費	184	300	116	特別会計の臨時的繰出し等
〔臨時的経費計〕	〔3,439〕	〔6,365〕	〔2,926〕	
歳出合計	40,428	43,667	3,239	

- ・平成23年度当初予算は骨格予算のため、政策判断を伴う経費は大幅に少なくなっています。

6

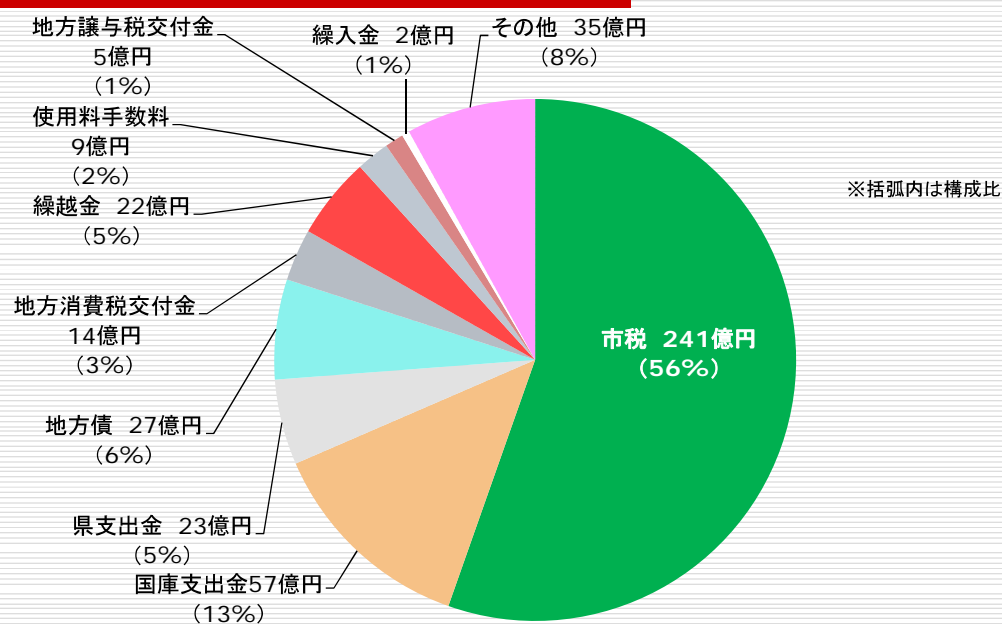
平成22年度決算の状況（普通会計歳入） <表>

(単位:千円、%)

歳入名	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	増減額	増減比
1市税(*)	24,128,631	55.5	24,606,413	57.8	△ 477,782	△ 1.9
2地方譲与税交付金	507,509	1.2	521,237	1.2	△ 13,728	△ 2.6
3利子割交付金	89,686	0.2	97,765	0.2	△ 8,079	△ 8.3
4配当割交付金	35,017	0.1	44,475	0.1	△ 9,458	△ 21.3
5株式等譲渡所得割交付金	19,161	0.0	22,841	0.1	△ 3,680	△ 16.1
6地方消費税交付金	1,370,613	3.1	1,372,971	3.2	△ 2,358	△ 0.2
7ゴルフ場交付金	44,125	0.1	42,753	0.1	1,372	3.2
8自動車取得税交付金	168,560	0.4	203,944	0.5	△ 35,384	△ 17.3
9地方特例交付金	308,902	0.7	337,422	0.8	△ 28,520	△ 8.5
10地方交付税	2,050,567	4.7	283,491	0.7	1,767,076	623.3
11交通安全交付金	26,357	0.1	27,720	0.1	△ 1,363	△ 4.9
12分担金・負担金(*)	250,618	0.6	209,663	0.5	40,955	19.5
13使用料・手数料(*)	929,771	2.1	939,761	2.2	△ 9,990	△ 1.1
14国庫支出金	5,729,263	13.2	6,865,078	16.1	△ 1,135,815	△ 16.5
15県支出金	2,335,203	5.4	1,882,060	4.4	453,143	24.1
16財産収入(*)	138,401	0.3	169,264	0.4	△ 30,863	△ 18.2
17寄附金(*)	43,617	0.1	28,837	0.1	14,780	51.3
18繰入金(*)	158,086	0.4	1,131,858	2.7	△ 973,772	△ 86.0
19繰越金(*)	2,172,191	5.0	1,255,176	2.9	917,015	73.1
20諸収入(*)	287,106	0.7	203,024	0.5	84,082	41.4
21地方債	2,668,500	6.1	2,290,800	5.4	377,700	16.5
合 計	43,461,884	100.0	42,536,553	100.0	925,331	2.2
(自主財源)(*)	28,108,421	64.7	28,543,996	67.1	△ 435,575	△ 1.5
(依存財源)(*以外)	15,353,463	35.3	13,992,557	32.9	1,360,906	9.7

7

平成22年度決算の状況（普通会計歳入） <グラフ>



8

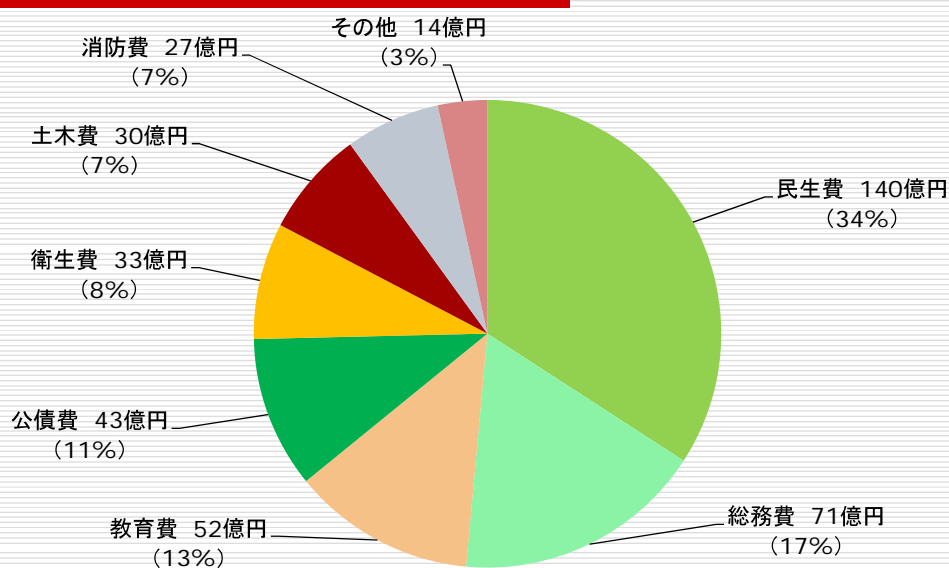
平成22年度決算の状況（普通会計の目的別歳出）

(単位:千円、%)

年度	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	増減額	増減比
1議会費	393,377	1.0	392,111	1.0	1,266	0.3
2総務費	7,137,755	17.4	8,026,855	19.9	△889,100	△11.1
3民生費	14,003,997	34.1	11,396,154	28.2	2,607,843	22.9
4衛生費	3,277,198	8.0	3,344,182	8.3	△66,984	△2.0
5労働費	181,468	0.4	94,335	0.2	87,133	92.4
6農林水産業費	407,617	1.0	374,949	0.9	32,668	8.7
7商工費	412,227	1.0	424,182	1.1	△11,955	△2.8
8土木費	3,015,763	7.3	3,379,007	8.4	△363,244	△10.8
9消防費	2,722,874	6.6	2,804,164	6.9	△81,290	△2.9
10教育費	5,157,592	12.6	5,956,045	14.8	△798,453	△13.4
11災害復旧費	30,058	0.1	0	0.0	30,058	皆増
12公債費	4,327,970	10.5	4,169,905	10.3	158,065	3.8
計	41,067,896	100.0	40,361,889	100.0	706,007	1.7

9

平成22年度決算の状況（普通会計の目的別歳出 グラフ）



10

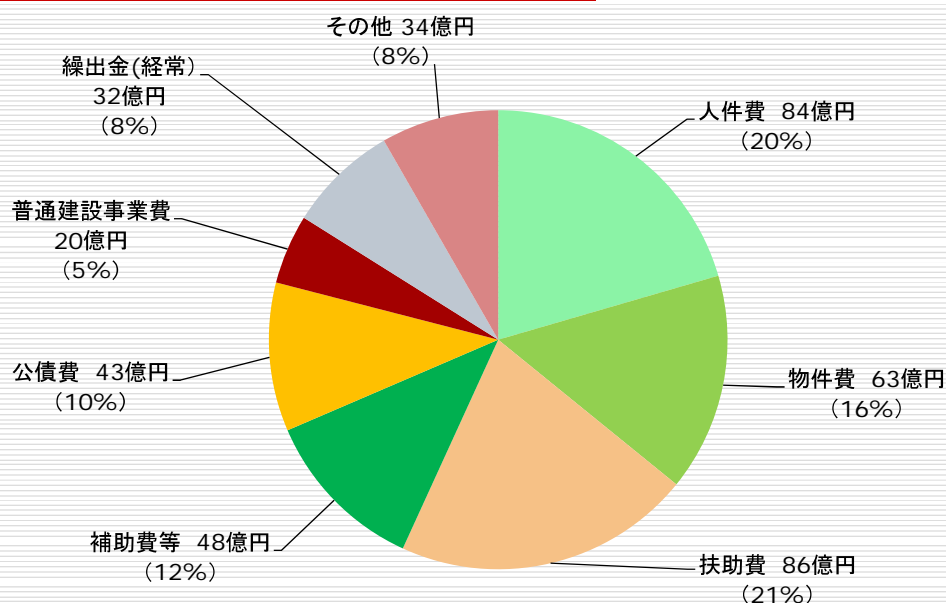
平成22年度決算の状況（普通会計の性質別歳出）

(単位:千円、%)

年 度	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	増減額	増減率
人件費	8,447,797	20.6	8,569,680	21.2	△ 121,883	△ 1.4
扶助費	8,536,892	20.8	6,016,376	14.9	2,520,516	41.9
公債費	4,327,970	10.5	4,169,905	10.3	158,065	3.8
物件費	6,299,809	15.3	6,242,913	15.5	56,896	0.9
維持補修費	412,904	1.0	410,719	1.0	2,185	0.5
補助費等	4,840,428	11.8	7,515,325	18.6	△2,674,897	△35.6
経常的繰出金	3,186,298	7.8	3,023,660	7.5	162,638	5.4
積立金	2,617,410	6.4	788,349	2.0	1,829,061	232.0
投資・出資・貸付金	81,719	0.2	87,666	0.2	△ 5,947	△ 6.8
繰出金(除経常)	292,091	0.7	305,943	0.8	△ 13,852	△ 4.5
投資的経費	2,024,578	4.9	3,231,353	8.0	△1,206,775	△37.3
うち普通建設事業費	1,994,520	4.9	3,231,353	8.0	△1,236,833	△38.3
歳出合計	41,067,896	100.0	40,361,889	100.0	706,007	1.7

11

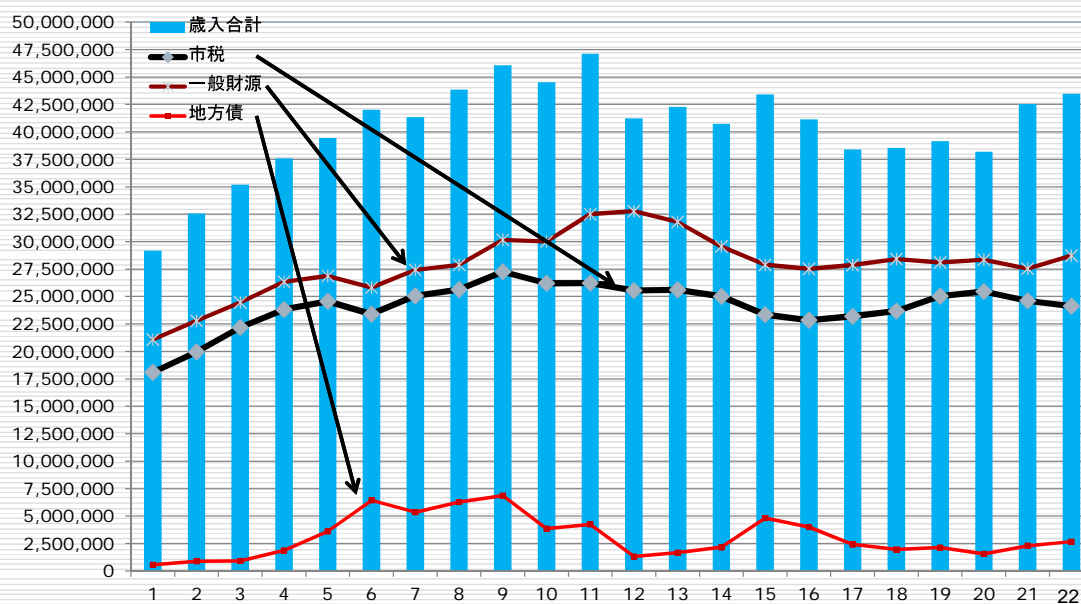
平成22年度決算の状況（普通会計の性質別歳出 グラフ）



12

決算の推移（普通会計歳入）

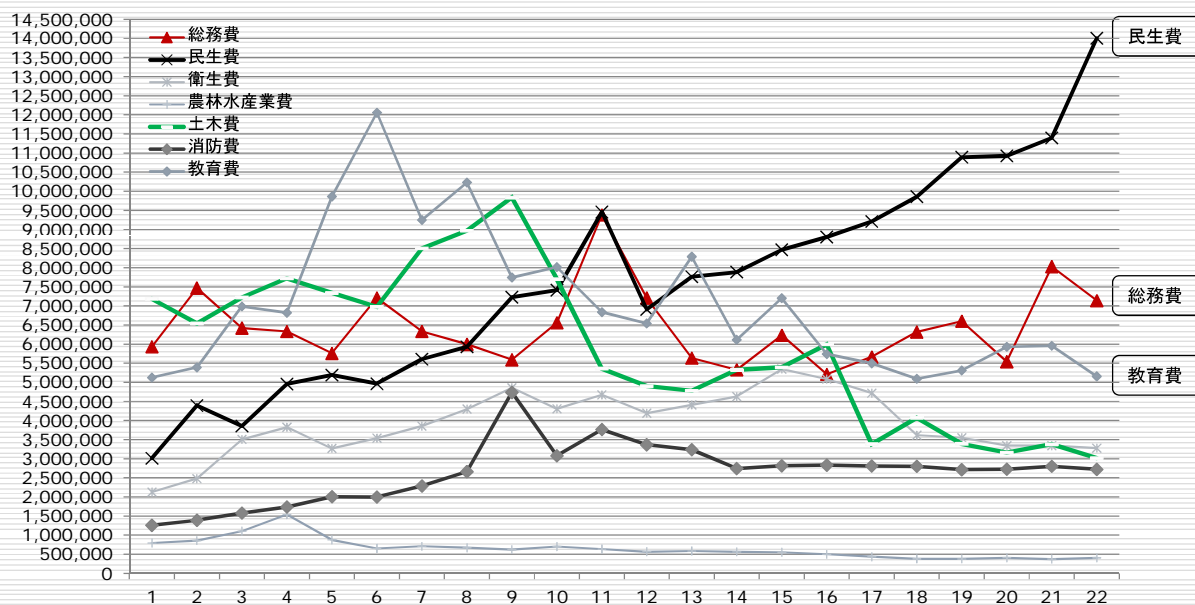
(単位:千円)



13

決算の推移（普通会計歳出）

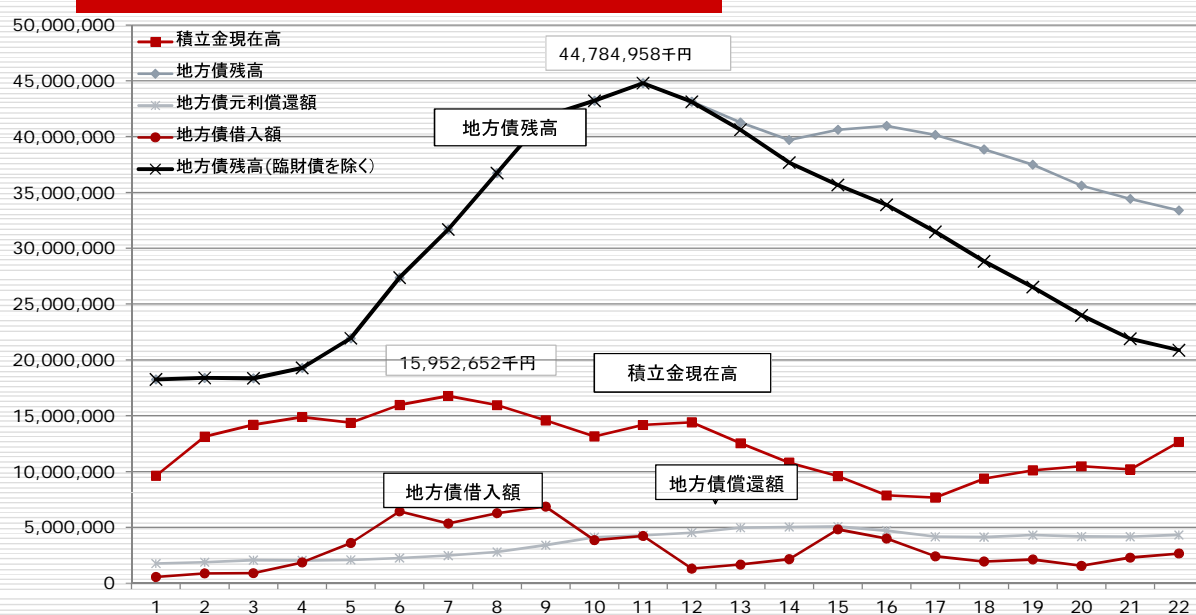
(単位:千円)



14

地方債残高と基金積立金 (普通会計ベース)

(単位:千円)



15

財政指標等について

① 主な指標推移 (平成17年度～平成22年度の普通会計決算)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22
経常収支比率(%)	96.0	92.0	96.1	93.8	95.6	89.6
公債費負担比率(%)	12.7	12.3	13.1	12.9	12.8	12.3
財政力指数	0.980	0.996	1.005	1.010	1.004	0.971
地方債現在高	402億	389億	375億	356億	344億	334億
基金現在高	77億	94億	101億	105億	102億	127億
うち財政調整基金現在高	9億	20億	27億	31億	30億	56億

② 財政健全化比率 (地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算出)

※佐倉市の平成22年度決算の数値は、

「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は赤字でないため、数値表示なし

「実質公債費比率」は、公債費の標準財政規模に対する割合。佐倉市は6.6%

「将来負担比率」は、公債費や退職引当金等の将来負担の標準財政規模に対する割合。佐倉市は数値表示なし

16

参考 予算について

- ① 予算とは 地方自治法(以下「法」)第210条～
佐倉市の一年間の行政活動について、その予定を金銭で表したもの、金銭的な支出を伴う行政活動には、予算の裏づけが必要
 - ・会計年度⇒毎年4月1日から翌年3月31日まで (法208条)
 - ・歳入予算⇒あくまでも見積もり。予算額以上の収入も差し支えない。
 - 歳出予算⇒予算に定めのない支出はできない。また、金額についても、予算額がその上限となる。
 - ② 予算の内容
「歳入歳出予算」
「継続費」「繰越明許費」「債務負担行為」
「地方債」「一時借入金」「歳出予算の流用」
 - ③ 予算の種類
「当初予算」「補正予算」「暫定予算」
-

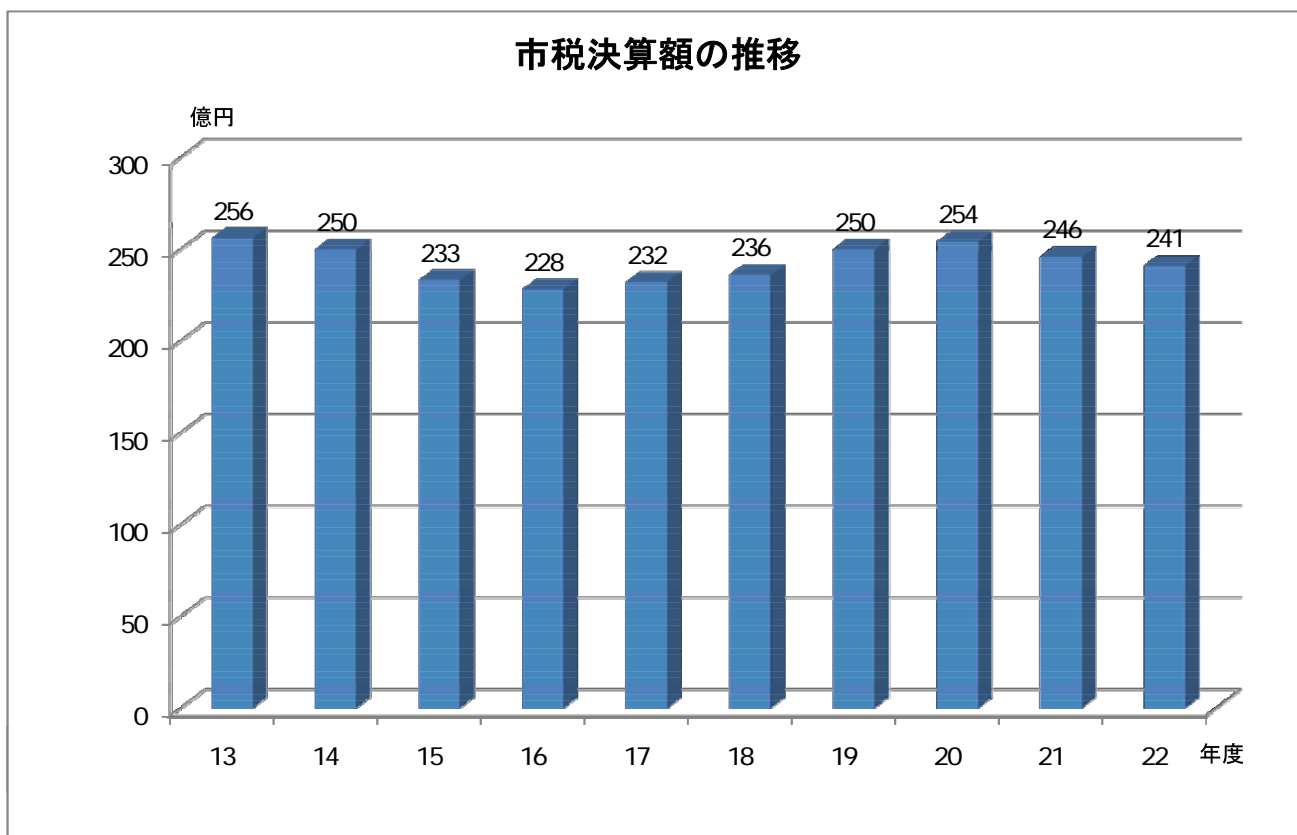
17

参考 会計について

- ① 一般会計 法209条
地方公共団体の会計の中心をなすもので、行政運営の基本的な経費を網羅した会計。通常経費は一般会計で経理する。
 - ② 特別会計・・・佐倉市は現在7の特別会計
歳出(支出)に充当すべき歳入があり、会計を別にして収支を明らかにしてわかりやすくするために設置。佐倉市の特別会計は、
国民健康保険、公共用地取得事業、下水道事業、農業集落排水事業
介護保険、災害共済事業、後期高齢者医療
 - ③ 普通会計
総務省が行う全自治体への決算に関する統計調査があり、その中で、全国の市町村との比較ができるように統一会計区分として定めたもの。
経常収支比率などの財政指標は、この会計に基づいて算出している。
-

18

市税決算額の推移

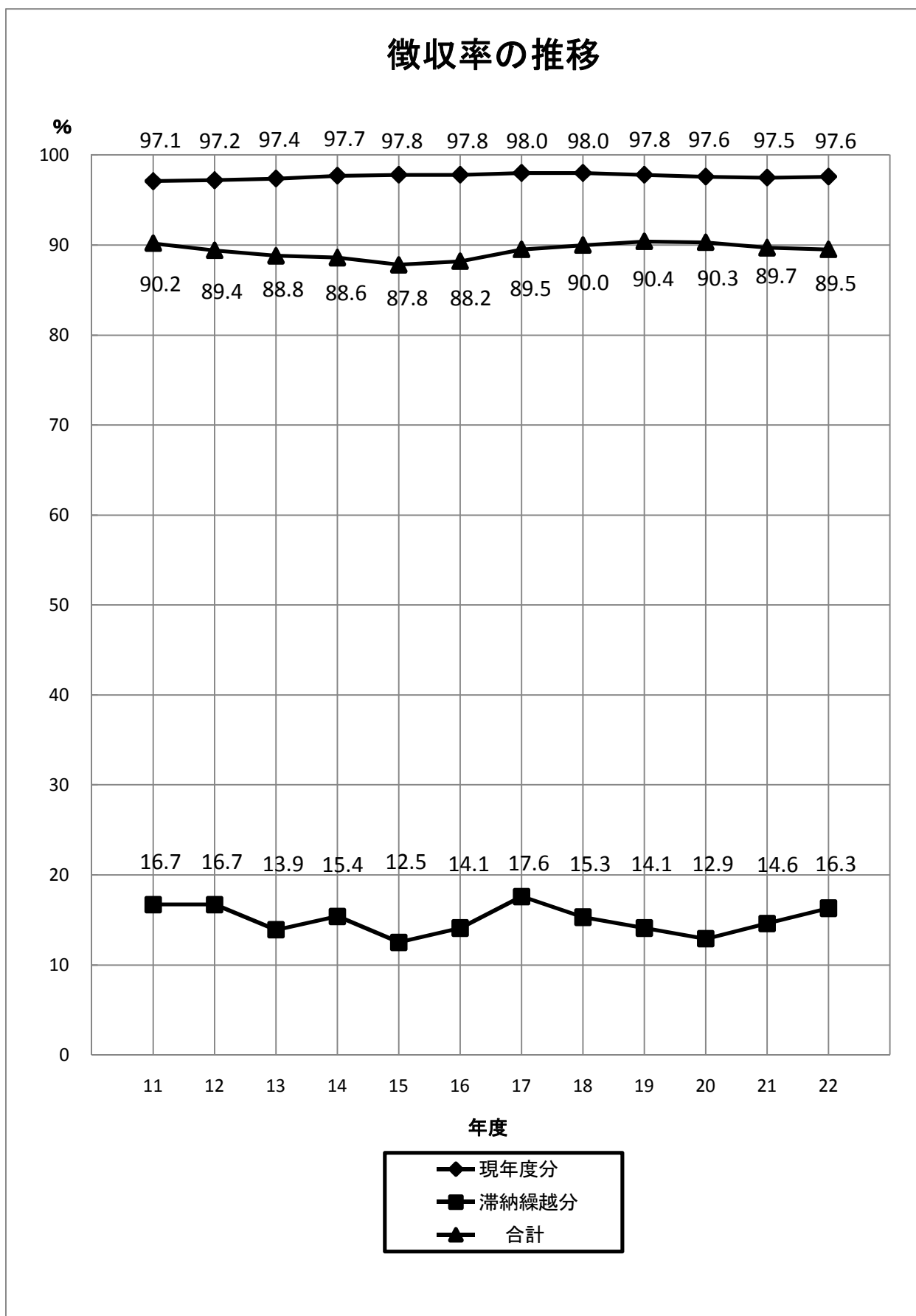


平成24年度 市税の要求状況

単位：千円

区分	平成23年度			平成24年度(要求)			予算額の増減	
	調定額	予算額	収納率	調定額	予算額	収納率		
市民税	個人	11,976,944	10,876,921	90.82%	12,522,565	11,352,198	90.65%	475,277
	法人	1,152,239	1,125,533	97.68%	1,123,882	1,097,076	97.61%	△ 28,457
	計	13,129,183	12,002,454	91.42%	13,646,447	12,449,274	91.23%	446,820
固定資産税	10,222,595	8,848,561	86.56%	9,670,103	8,397,133	86.84%	△ 451,428	
軽自動車税	188,092	162,315	86.30%	192,753	166,526	86.39%	4,211	
市たばこ税	989,658	989,658	100.00%	895,446	895,446	100.00%	△ 94,212	
特別土地保有税	25,405	1,016	4.00%	1	1	100.00%	△ 1,015	
都市計画税	1,923,685	1,653,951	85.98%	1,819,845	1,571,644	86.36%	△ 82,307	
計	26,478,618	23,657,955	89.35%	26,224,595	23,480,024	89.53%	△ 177,931	

徴収率の推移



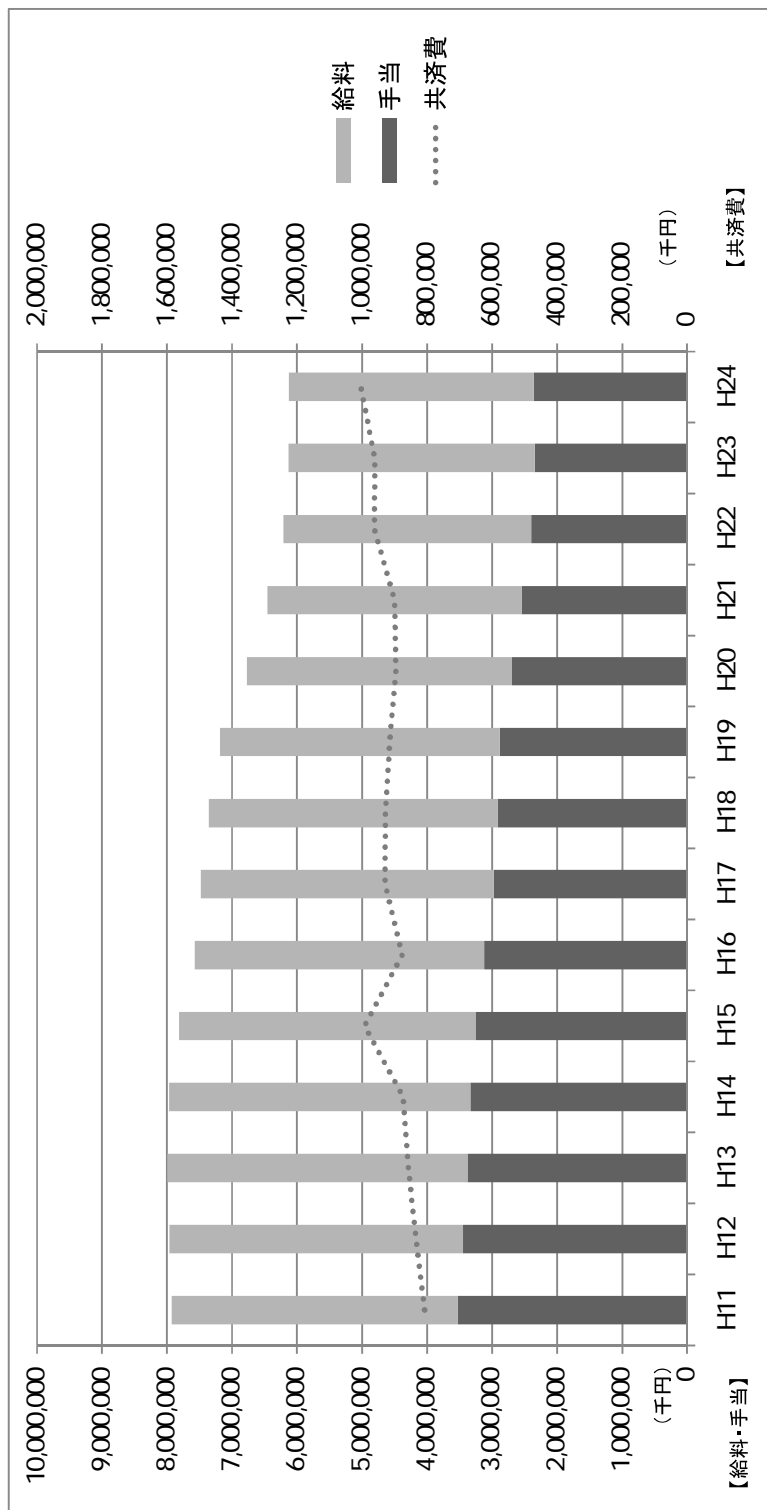
一般職の給与について(一般会計)

【単位：千円】

区分	給与費		共済費	合計
	給料	職員手当 計		
平成 24 年度	3,767,298	2,357,063	1,003,371	7,127,732
平成 23 年度	3,780,677	2,346,817	961,356	7,088,850
増減	▲13,379	10,246	42,015	38,882

一般職員の給料については、新規採用職員、退職職員の出入り等により、総額として▲13,379千円となっています。手当につきましては、時間外勤務手当の増加に対して、期末手当、勤勉手当支給月数の変動が無かったこと等から、10,246千円の増となっています。共済費については、負担金率の大幅な上昇が見込まれることから、42,015千円増となっており、合計で38,882千円増となっています。

一般職職員の10年間の人件費推移(一般会計)



【単位:千円】

年度	給料	手当	共済費	合計
平成11年度	4,398,313	3,528,872	807,725	7,927,185
平成12年度	4,509,473	3,450,854	834,354	7,960,327
平成13年度	4,610,951	3,381,368	857,736	7,992,319
平成14年度	4,635,162	3,335,192	874,091	7,970,354
平成15年度	4,557,802	3,258,493	992,419	7,816,295
平成16年度	4,449,365	3,122,930	876,671	7,572,295
平成17年度	4,502,214	2,977,123	929,690	7,479,337
平成18年度	4,438,739	2,917,184	928,751	7,355,923
平成19年度	4,302,614	2,879,932	915,225	7,182,546
平成20年度	4,077,688	2,691,515	896,216	6,769,203
平成21年度	3,914,335	2,542,005	900,549	6,456,340
平成22年度	3,810,933	2,399,823	961,903	6,210,756
平成23年度	3,780,677	2,346,817	961,356	6,127,494
平成24年度	3,767,298	2,357,063	1,003,371	6,124,361

(各年度予算書の給与費明細書より抜粋)
(見込み)

各市町村においては、給与情報等について、住民等が団体間の比較分析を行うことができるよう、ホームページ上において、統一的内容の公表を行っています。

佐倉市のような一般市は、国において、人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）から、右の団体を「類似団体」として分類されています。（全国では29団体：県内のみ記載）

この類似団体と佐倉市を比較いたしますと、本市の給与費は比較的低い状況にある言うことができます。

各市 給与・定員管理の等の公表より (各市 HP 公表資料より:H21 普通会計決算)	
区分	1人あたり給与費
市川市	7,592,995 円
松戸市	7,226,597 円
浦安市	7,048,654 円
八千代市	7,031,030 円
習志野市	6,505,457 円
佐倉市	6,686,974 円
流山市	6,929,793 円
(参考：近隣同規模団体)	
成田市	7,141,846 円
四街道市	6,812,747 円

特別職の報酬について

【参考：千葉県内類似団体特別職の報酬の状況】

佐倉市のような一般市は、人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）により、国によって「[類似団体](#)」として分類されている。佐倉市の特別職の報酬は類似団体の中でも低い水準となっている。

市長、副市長等特別職の毎月の報酬月額は平成23年度と同様、市長が月額940,000円、副市長が800,000円となっている。（議員については平成23年度に2万円づつ引き下げられている。）

なお、期末手当についても、昨年と同様、3.90月となっている。

区分	市長	副市長	議長	副議長	議員
市川市	1,016,000円	837,000円	724,000円	652,000円	604,000円
松戸市	1,050,000円	860,000円	720,000円	660,000円	590,000円
浦安市	1,000,000円	830,000円	630,000円	560,000円	520,000円
八千代市	980,000円	830,000円	520,000円	480,000円	460,000円
習志野市	950,000円	810,000円	540,000円	500,000円	480,000円
佐倉市	940,000円	800,000円	520,000円	480,000円	460,000円
流山市	926,200円	799,700円	547,750円	487,950円	458,150円

佐倉市の職員数と対人口比率

【各年度4月1日現在】

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人口	172,181	173,548	174,078	174,624	175,033	175,573	175,118	174,984	175,126	175,134	175,601	175,914	176,169
職員数	1,178	1,178	1,171	1,168	1,151	1,132	1,111	1,101	1,085	1,047	1,019	993	989
職員1人当り人口	146.2	147.3	148.7	149.5	152.1	155.1	157.6	158.9	161.4	167.2	172.3	177.2	178.1

平成11年度から比較すると、人口は172,181名から176,169名と3,988名増加しているにもかかわらず、1,178名であった職員は、平成23年度には▲189名の989名となっており、職員1人でカバーする人口数も、数値上は146.2人から178.1人と県内でも有数の数値に上昇しています。